

# 地域の在来作物の特性を探る

## ～未利用資源の利用と融合した在来作物栽培の促進～

キーワード 在来作物, 遺伝資源, 未利用資源

2

利用を  
ゼロに

13

気候変動に  
具体的な対策を

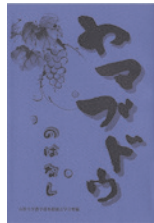
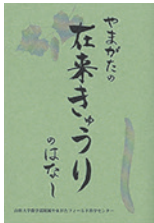
15

種の豊かさ  
を守る

### ■ 研究概要

庄内地方をはじめ山形県内にはさまざまな地域独特の品種や系統が存在しています。それを私たちは在来作物と定義して、その多様性を守り次世代に繋ぎ、次世代の循環型農業に組み込んでいく試みをおこなっています。

庄内地方を中心に山形県内に残っている在来作物の収集や保存、そして特性解明を行っています。なぜこれまで在来作物として残ってきたのかということがそれらの調査・研究を通じて明らかになってきました。



在来作物の特性を調査した結果を冊子にまとめています。

やまがたの在来きゅうりのはなし(左)とヤマブドウのはなし。

また、失われつつある在来作物の栽培という地域に根差した農業と竹などの現在の未利用資源の利用を融合し、新たな需要循環型農業システムの構築や資源循環型農業を目指しています。



在来作物の栽培に利用した竹炭の破片(左)と栽培した山形赤根ほうれん草(中)、外内島きゅうり(右)

### ■ どのような共同研究・連携に結びつけられるか？

- ・ 在来作物の特性調査や特性の利活用
- ・ 在来作物等の種取りや種苗生産について
- ・ 園芸生産と循環型農業について

池田 和生 准教授 IKEDA, Kazuo

専門分野：園芸学（果樹）

E-mail : kikeda@tds1.tr.yamagata-u.ac.jp

